



▲「人権の花」の贈呈を受けた児童たち

金魚草やテルスター、ベコニアなど各学年で選んだ花の苗を、佐賀県人権擁護委員協議会の西村俊治会長をはじめ来賓の方々が各学年代表の児童たちに贈呈しました。

贈呈を受けて、中部小ボランティア委員会委員長の石丸晴人さん(6年生)が、「人権の花を咲かせて、思いやりやさしさについて勉強していきます。そして思いやりの花を咲かせたいです」とお礼の言葉を述べました。

思いやりの心を育て、 心の花を咲かせます

「人権の花」贈呈式

中部小(今泉弘校長:185人)で9月27日「人権の花」贈呈式が行われました。

「人権の花」運動は、花を育てることで、命の大切さや思いやりの心を育ててほしいとの思いから『佐賀・武雄人権啓発活動地域ネットワーク』が主催。

連綿と続く伝統と新しい催しで盛り上がる

秋季積菜と『キャラクター大集合 in 多久聖廟』

多久茂文公没後300年にあたる今年、多久聖廟で10月23日、儒学の祖・孔子を祭る秋季積菜が厳かに行われました。積菜は、茂文公が献官を務められた1708年以来途絶えることなく続けられています。積菜終了後は、境内で西溪中生徒による「積菜の舞」の披露や多久保育園児による「幼児太鼓」もありました。芝生広場ではのぞみ保育園児による「花棒舞」、中部小児童の「腰鼓」も行われ華を添えました。

今年は『キャラクター大集合 in 多久聖廟』も開催され、多久翁さんをはじめ佐賀県内のマスコットキャラクターが大集合しました。「巨大論語カルタ」や「風船であそぼ」などで子どもたちはキャラクターとふれあい大歓声。一緒に写真撮影も楽しみました。

▶雅楽が奏でられるなか、古式ゆかしく行われた秋季積菜



◀躍動的に中部小5.6年生が踊る「腰鼓」

秋いっぱいの素敵な花壇がお目見え

10/7

10月の都市緑化月間推進運動にちなんで都市緑化植栽が市役所玄関前アプローチで行われました。今年は、和(なごむ)をテーマに、テルスターやパンジー、コスモスなど季節の花で花壇を完成させました。西九州建設㈱の福島直幸さんは、「花壇の木材は環境に配慮した廃材を使っています。色とりどりの花々を是非見てもらいたいです」と話しました。この機会に、みなさんもお庭やお部屋で花や緑を育ててみては、いかがですか。



楽しく身の守り方を考える

9/28

『CAP(子どもが暴力から自分の身を守るための教育プログラム)』の授業が、中央中1年生を対象に行われました。講師の重永侑紀さんらは、生徒に質問したり一緒に劇をして「暴力とは安心・自信・自由を奪われること。解決するには自分で嫌と言ったり、周りを信じて話をしてください」と伝えました。1組の服部真結さんは「劇が楽しかった。何かあったら先生に相談したいです」と、自分の身の守り方を考えていました。

